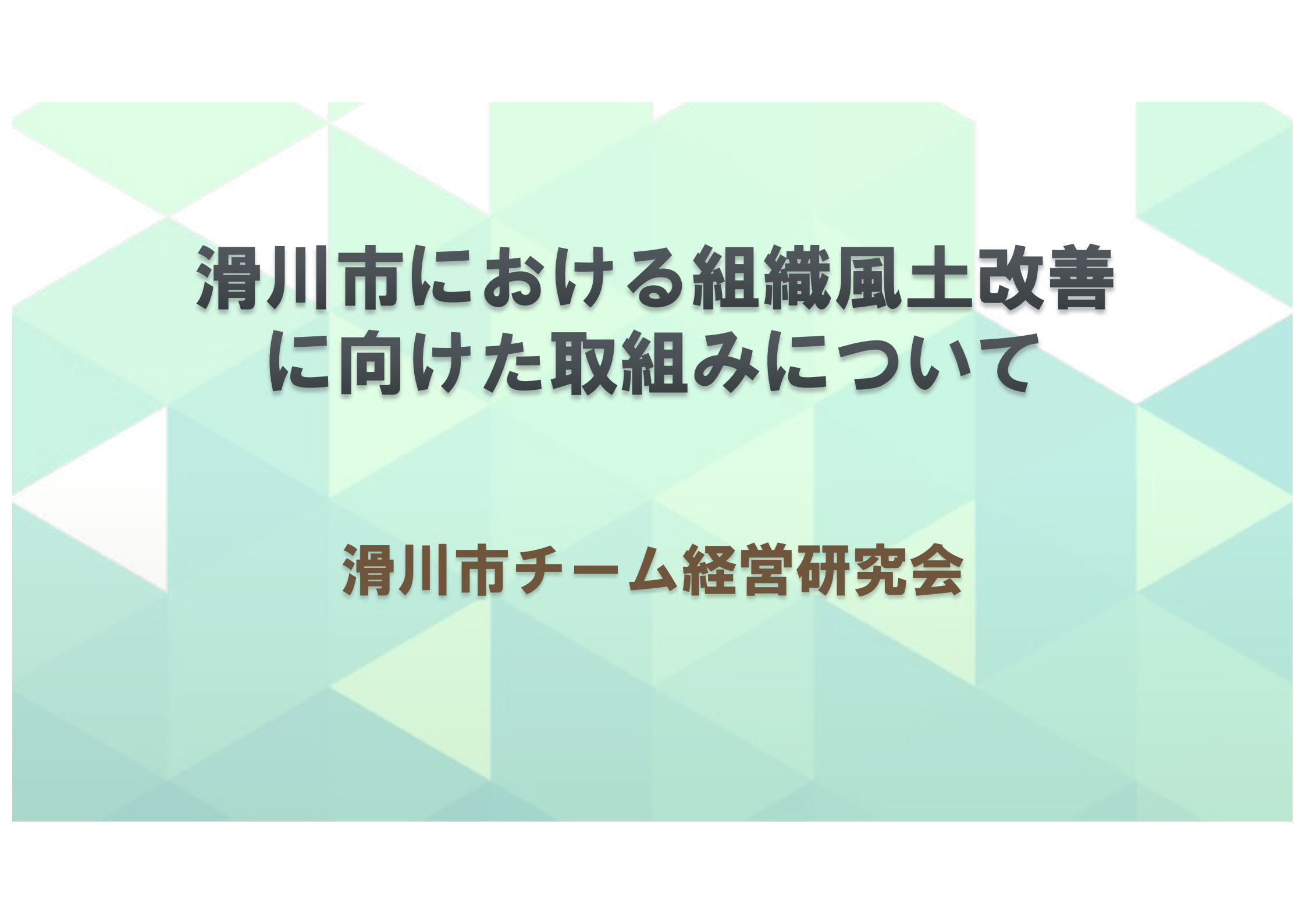




滑川市における組織風土改善 に向けた取組みについて

滑川市チーム経営研究会

目次

- ▶ 富山県滑川市について
- ▶ 滑川市のこれまでの取組み
- ▶ 滑川市チーム経営研究会について
- ▶ 2023年度の実組み
- ▶ 今後の取組み

富山県滑川市について

○人口 約33,000人

○特徴

- ・ 県都富山市に隣接
- ・ 北アルプス立山連峰の剣岳を源とする早月川扇状地
- ・ 旧北陸街道の宿場町
- ・ かつては県内で有数の売薬業の町で、全国に販売。近年ではYKKAPなど、製造業が盛ん。
- ・ 沖合は、ホタルイカ群雄海面（特別天然記念物）
- ・ 海洋深層水を取水



滑川市のこれまでの取り組み

1. 市役所の現状把握（若手職員全員と、市長・副市長とのミーティング）

非管理職の若手職員150人全員と、市長・副市長とのオフサイトミーティングを実施。

2022年6月～11月の期間、毎回5人＋市長・副市長の7人で計30回実施。

⇒職員の思いや市政の課題を把握することができ、できるところから改善対応に取り組む。

2. 組織風土改善に向け、突破口となる若手職員の掘り起こし（若手職員と市政を語り合う）

若手職員と、市長・副市長が、滑川市の将来ビジョン・政策を語り合う場として実施。

20代～30代の主任・主事級の若手5人が自主的に応募。

2022年度下期～2023年度上期にかけて市政についての政策提案を練り上げ。

⇒2チームに分かれて、2023年10月に発表会を実施。提案内容が新年度の予算、機構改革に反映。

3. 市の経営戦略となる「総合計画の改定」と管理職の意識改革

⇒2023年度、滑川市チーム経営研究会が発足

滑川市チーム経営研究会について

1. チーム経営研究会とは

VUCAの時代、環境変化に俊敏かつ柔軟に対応するための組織マネジメントは、ますます複雑化、高度化しており、組織内がシームレスにつながり、職員がストレスフリーに改善改革を実現でき、地域の将来像に向けて一体的に進める組織作りのため、管理部門と事業部門とが連携し「チーム経営」に取り組む研究会

2. 対象者

企画・人事・財政といった管理部門と建設・子ども福祉といった事業部門の管理者

- ☑ 事業の連携、取捨選択が進まない
- ☑ 「できる職員」の頑張りに依存している
- ☑ 管理部門と事業部門のギャップがある
- ☑ やらされ感があり、職員が育っていない



成果

- ①組織に一体感ができる
- ②部署横断的した連携が進む
- ③事業を優先する意思決定ができる
- ④職員が改善・改革に主体的に取り組む
- ⑤職員が経営目線で考え、動く力が育つ 等

出典：自治体改善マネジメント研究会資料より

滑川市における「チーム経営研究会」の目的

1. 目的

新しい市長・副市長のもとで意見
が言いやすい、提案しやすい組織
風土をつくりつつある



政策（総合計画）も改定の準備を
し始めた



今後、どんな組織をつくっていけ
ばいいだろうか、どんな職員にな
れたらいいだろうか、みんなで
知恵を出し合ってみよう

2. 参加者

1	高倉 晋二（総務課長 人事担当）
2	長崎 一敬（財政課長 財政担当）
3	高森 覚（企画政策課長 企画・行革担当）
4	牧田 優子（教育委員会こども課長）
5	谷川 直美（建設課主幹）
	柿沢 昌宏（副市長）

2023年度の取組み

○チーム経営研究会

5月22日	第1回 ジブンガタリと現状の問題意識の共有
6月30日 7月26日	第2回 行政経営における現象面の問題を把握 第3回 行政経営における本質的な（連携上の）問題を模索
8月30日 9月28日	第4回 現状の問題意識の出し合い（もやもや出し） 第5回 現状の問題意識の出し合い（もやもや出し）続

【主な課題】

- ・ 行政経営の方針として、新市長のマニフェスト、前市長時代の総合計画、人材育成基本方針等があり、トリプルスタンダードになっている可能性が高い。
- ・ 総合計画が施策運営にあたって自分事として捉えられていない（特に若手）。
- ・ 市のビジョンを語り合う「まちづくり共創会議」にてビジョン案が固まっていない状況。

⇒組織、職員の方向性や取組みを検討する前段階として、総合計画の改定に合わせ、M V Vが組み込まれることを今年度の成果として設定

滑川市の行政経営の経緯

年度(西暦)	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24					
年度(和暦)	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
首 長	→		← (1期)				← (2期)				← (1期)				← (2期)				← (3期)				← (1期)							
	澤田寿朗市長						中屋一博市長								上田昌孝市長								水野達夫市長							
条例	健全な財政に関する条例																													
基本構想	→		← 第3次総合計画(H13～22)								← 第4次総合計画(H23～R2)								← 第5次総合計画(R3～R12)											
基本計画	→		← 第3次総合計画(H13～22)								← 第4次総合計画前期基本計画(H23～H27)								← 第4次総合計画後期基本計画(H28～R2)				← 第5次総合計画前期基本計画(R3～R7)							
実施計画	→		← 毎年度見直し(H13～22)								← 毎年度見直し(H23～R2)								← 毎年度見直し(R3～R12)											
総合戦略																	← 第1期総合戦略(H27～R元～R2)				← 第2期総合戦略(R3～R7)									
行財政改革大綱・プラン等	← 第3次行革大綱(H12～H15)				← 第4次行革大綱(H16～H20→H21)				← 第5次行革大綱(H22～H26)				← 第6次行革大綱(H27～R元)				← 第7次行革大綱(R2～R6)													
											← 集中行革プラン(H17～21)																			
行政評価											← 事務事業評価(試行)				← 事務事業評価															
人材育成基本方針						← 職員人材育成基本方針										← 職員人材育成基本方針(一部見直し)														
人事評価制度								← 試行実施				← 一部本格実施				← 本格実施														
改善運動																														

2023年度チーム経営研究会の取組み

11月7日

11月8日

第6回 まちの将来像と戦略を思い描く

第7回 チーム力を生かした当面のチャレンジ課題設定

- ・ビジョンは政策の基準となり、外部に市のイメージを伝える、建物の屋根の部分
- ・各種政策はビジョン達成に向けた、建物の柱の部分
- ・役所の組織体制、財政基盤は全ての政策に関連する、建物の基礎の部分
- ・市として大事にする価値感、目指すべきまちの将来像をアイデア出し



⇒将来ビジョンや政策のアイデアを広く募集するため、市民セッション、職員セッションを開催。メンバーはファシリテーターとして参加し、場のコーディネートを行うこととした。

2023年度の取組み

○チーム経営研究会

5月22日 第1回 ジブンガタリと現状の問題意識の共有

6月30日 第2回 行政経営における現象面の問題を把握

7月26日 第3回 行政経営における本質的な（連携上の）問題を模索

8月30日 第4回 現状の問題意識の出し合い（もやもや出し）

9月28日 第5回 現状の問題意識の出し合い（もやもや出し）続

11月7日 第6回 まちの将来像と戦略を思い描く

11月8日 第7回 チーム力を生かした当面のチャレンジ課題設定

11月27日 第8回 まちづくり共創会議、市民ワークショップに向けて

12月26日 第9回 まちづくり共創会議、職員ワークショップに向けて

1月30日 第10回 総合計画ビジョン・バリュー案のブラッシュアップ検討

○共創会議、総合計画改定

10月16日 第1回まちづくり共創会議

12月4日 第1回共創会議市民セッション

12月14日 第2回共創会議市民セッション

1月10日 職員セッション

1月16日 市長セッション

1月17日 第2回まちづくり共創会議

2月15日 第2回総合計画審議会

滑川市まちづくり共創会議

1. 目的

新しい滑川の実現に向け、意欲のある市民、企業の皆さんと市の将来ビジョンや政策についての
新しい対話の場として創設

2. 委員

委員15名、特別アドバイザー 藤野 英人 氏

3. 議論のテーマ

- ・ 次の6テーマについて施策等を議論（R4年度6回、R5年度2回）
 - ①地域資源の活用と地域のブランディング、②子育て支援と教育・人材育成
 - ③商工業・農林水産業・創業支援、④デジタル化とスマートシティ
 - ⑤交流・関係人口の拡大、⑥市民対話・公民連携
- ・ 広く市民の方からアイデアをいただく場として**市民セッション**を2回開催（R5. 12. 4, 14）
- ・ 若手職員からのアイデア出しとして**職員セッション**（R6. 1. 10）、市長の思いを確認する**市長セッション**（R6. 1. 16）を開催
- ・ 市の将来ビジョン「**笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川**」とした報告書を策定



【市民セッション】



【職員セッション】



「将来ビジョン」と「政策」の体系化

将来ビジョン検討の際、基本と考えていた、「市民一人ひとりを起点」とし、「市民と共創」という考え方を、基本理念に据える。

基本理念

市民起点、市民共創

将来
ビジョン

「市民一人ひとり」

笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川

政策の柱

将来ビジョンの
実現に向け、
各種政策を実施

強い
滑川

産業経済など

優しい
滑川

医療福祉など

輝く
滑川

教育文化など

政策基盤

行政経営の推進（分野横断的な組織体制、人材育成）

⇒上記を総合計画に盛り込むことに加え、政策の企画・実施にあたって総合計画が判断基準となることを明文化

今後の取組み

改正した総合計画（基本構想、基本計画）を行動の基軸として、将来ビジョンを実現する組織と人づくりに取り組む。

そのために、各階層の職員が何に責任を持ち、いかに仕事をしていくかという役所内の仕事のあり方、進め方を捉え直し、既存の方針や計画に連動し改定を進めていく。

1. メンバー

昨年度からのコアメンバー（副市長、企画政策課長、総務課長）：3人

+

企画、総務、財政、DX、教育委員会事務局の課長補佐、係長クラス：5人

2. 活動

5月～7月	ジブンガタリ（自己紹介）、組織の現状について意見交換
8月～9月	役職ごとの現状・問題点、ありたい姿などの検討
10～11月	求められる能力など人材育成基本方針へ反映する内容を検討（予定）
12月	成果報告（予定）

ご静聴、ありがとうございました！



出典：自治体改善マネジメント研究会資料（第9回チーム経営研究会より）